



みねかえで しるし あお
峰楓 徽章と仰ぎ

第6号

【文責 保科 潔(教頭)】

こんな状況だからこそ

～「生徒から楽しみを奪わない」「地域を・地域で・地域と学ぶ」～

3 学年 修学旅行代替行事「蓼科・諏訪の旅」(10月9日、10日)

10月9日(金) 伊那中＝フォレストアドベンチャー 蓼科での自然体感プログラム＝陶芸こびねり体験で私だけの器づくり
10月10日(土) 自家製みそ造り＝諏訪湖遊覧船クルージング＝門前ひろば食祭館で旅ランチ＝伊那中



〔3学年職員からのメッセージ〕

コロナ禍の中、「旅行に行ってくる事ができる幸せ」を味わった二日間でした。あいにくの悪天候で、一番の目玉だったアスレチックができず残念ではありましたが、自分たちが置かれた状況の中で、今できることを精いっぱい楽しむ。そんなことができる三年生の皆さんは本当にすごい人たちだと感心させられました。

体験活動が主になった旅行でしたが、ホテルについてまず初めに行ったのは「陶芸手びねり体験」です。蓼科の土を使った焼き物を教えていただき、思い思いのカップやお皿を作りました。発想豊かな作品から、売り物になりそうなものまでたくさんの作品が並びました。焼きあがりを楽しみます。

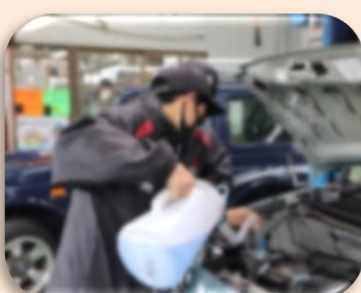
二日目は味噌づくり体験と諏訪湖遊覧船。どちらもなじみのあるものですが、実際に体験したことのある人はわずか。身近だけれど貴重な経験でした。雨の降る中でしたが、諏訪湖一周、じっくり堪能しました。普段なかなか触れることのない地元の魅力をたっぷり味わった二日間でした。

2 学年「職業体験学習」(10月19日～23日)

〔2学年職員からのメッセージ〕

コロナ禍の中の経済や社会状況の中で、受け入れていただいた職場は66カ所。生徒は、緊張しながらも、充実した表情で体験していました。そこで出会った人の姿や言葉を通して、「働くこと」「中学校時代の意味」を考えました。学んだこと、感謝の気持ちを忘れずに、次のステップへつなげていきましょう。

保護者の皆様には送迎、昼食、健康管理等お世話になりました。ありがとうございました。



1 学年「自然体験学習～ASOBINA(伊那市横山地区にある自然体験施設)～」(10月19日)

[1学年職員からのメッセージ ～実施前のドキュメントより～]

いよいよ来週が「自然体験学習」と迫った14日。「天気はどうだろう?」「コースの状態は?」少し気になることもあったが、生徒の熱気で吹き飛ばすように学年集会を行った。内容によっては危険を伴うこともあるので生徒の表情は真剣そのもの。その中でも生徒の一番関心が高いのは、ASOBINA アクティビティの説明。自然体験学習の下見で撮ってきた画像を見ながら説明を聞く。食い入るように画面を見つめる生徒たち。「やる気満々」…。お互いに意欲と興味の高まりを感じ、「成功させよう!」という気持ちを重ね合わせる瞬間。この事前学習を経て、いよいよ当日を迎えた。



SUP(立ち乗り一人用ボード)で湖面に浮く



マウンテンバイクで林間を疾走



パラグライダーで空も飛べるはず

全校「竜西保育園との合同避難訓練」(11月6日)

[係職員からのメッセージ]

9年前に起きた東日本大震災の避難生活でも中学生が大きな力になりました。被災地の中学生たちは、物資の運搬や給水・炊き出しの手伝い、避難所の掃除を積極的に行いました。

自然災害はいつ発生するかわかりません。学校にいる時間帯に災害が発生した場合には、地域にいる大人が仕事で人手が少ないことが予想されます。当然、自分の命を守ることが最優先です。一方で、自分で判断して行動することができ、比較的体力もある中学生は、率先して避難したり、周囲に避難を促したり、避難した先で様々な手助けができる存在として期待されています。

今回の避難訓練では、3年生が保育園児のとなりで指示を待ち、解散後は保育園まで送り届けました。避難生活では、幼児他にも、お年寄りの方や体の不自由な方もいるかもしれません。そういった状況になってしまったとき、みなさんはどんなことができるでしょうか?



小さい輪で結ばれた大きな安心感

「地域を支える生徒」伊那中学校が目ざす生徒の姿の一つです。そのために、地域のことを、地域のひとと、地域のやり方で学ぶ学習を大切にしています。こうした活動を通して、将来的にどこに住もうとも、自分が生活している地域のことに関心を持ち、地域やそこに住む人とつながりながら生活する皆さんの姿を私たち学校職員は想像します。

「ふるさと伊那谷」に根ざした学習や、突然のできごとによって計画どおりに行えず、新たに企画して実施することとなった修学旅行代替旅行のような活動は、結局、学校の力だけでは行えません。ご家庭や地域の皆様のご理解やご協力があってこそです。だからこそ、地域に愛され、貢献できる伊那中学校でありたいと改めて感じました。

報告

4月実施予定だった3学年修学旅行は中止となったものの、旅行会社には「旅行企画料金(一般的にはキャンセル料と呼ばれています)」の支払いが必要でした。しかし、過日、伊那市議会で補正予算案が可決され、全額、伊那市に公費負担していただくことが決定しました。関係する皆様に感謝するとともに、3年生のご家庭での支払いの必要がなくなったことをご報告します。